

農 研 速 報

平成 23 年 10 月 6 日 発行
 茨城県農業総合センター農業研究所
 〒311-4203 茨城県水戸市上国井町 3402
 Tel 029-239-7211 Fax 029-239-7306

作物名 (大豆)

県 名	生育ステージ		生育の状況	問題点	これまでに講じた対策 及び今後の方針
	本 年	平年対比			
茨 城 県 (水戸市)	タチナガハ 粒肥大期	平年並み	9月(第1～第6半旬)の平均気温は平年より1.0℃高く、日照時間は平年比122%、降水量は平年比162%であった(水戸地方気象台観測値。平年値は直近5ヵ年の平均値)。 生育は、平年に比べタチナガハで分枝数が多く、納豆小粒では、主茎節数は多いが、分枝数は少ない。 着莢の状況は、タチナガハで一株莢数・一莢重が平年より約10%少なく、一株莢重が平年比82%と少ない。納豆小粒では、一株莢数が平年並みであるが、一莢重が平年より約10%少なく、一株莢重が平年比88%と少ない。 台風15号の影響により、両品種とも倒伏した。特に、納豆小粒での倒伏程度が大きい。	特になし。	・紫斑病・英害虫の防除を実施した。 ・適期収穫を実施する。
	納豆小粒 粒肥大期	平年並み			

表 生育調査(播種後102日、9月30日調査)

品種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月日)	前年比 (日)	平年差 (日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	7月31日	1	△1	54	109	98	13.7	113	102	5.0	116	118	9.9	102	106
		7月30日	8月1日		(50)	(55)		(12.2)	(13.5)		(4.3)	(4.2)		(9.8)	(9.4)
納豆小粒	8月11日	1	2	76	107	107	18.3	109	112	5.0	83	75	9.5	107	107
		8月10日	8月9日		(71)	(71)		(16.8)	(16.3)		(6.0)	(6.6)		(8.9)	(8.9)

品種	地上部生体重			一株莢数			一莢重			一株莢重		
	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/莢)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	215	80	87	46	84	92	2.05	101	89	95	85	82
		(268)	(247)		(55)	(50)		(2.04)	(2.30)		(112)	(115)
納豆小粒	241	85	99	156	78	96	0.53	108	91	83	84	88
		(282)	(244)		(200)	(163)		(0.49)	(0.60)		(98)	(94)

試験場所は水戸市農業研究所内畑圃場(表層腐植質黒ボク土)。

()内は前年または平年値。平年値は平成18年～22年(5ヵ年分)のデータの平均値。

茎の太さは第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の節間で測定。

平年差の△は平年より早いことを示す。

耕種概要:6月20日播種、11.1株/m²(畦間60cm×15cm)1本立て、施肥量: N-P₂O₅-K₂O : 0.3-1.0-1.0kg/a

農研所内圃場における生育状況(9月30日撮影)
播種日:6月20日 栽植密度:11.1株/m²(畦間60cm 株間15cm)1本立て 施肥量(kg/a):N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.0-1.0



夕子ナガハ



納豆小粒